

理事長あいさつ

■ 安全就業・就業拡大・会員拡大を目標に

理事長 眞島 勝



当センターの令和元年度定時総会が5月31日に無事終了いたしました。会員の皆さま方には日頃より当センターの事業運営にご協力いただき、ありがとうございます。

さて平成30年度を振り返りますと、上期には異常気象による記録的な高温や豪雨、台風や地震等自然災害が発生、下期には米国と中国の貿易摩擦の影響で社会情勢が変動しました。一方日本国内に目を向ければ景気は緩やかに回復傾向にありましたが、政治は依然として混迷していました。

そのようななかで経済状況は先行き不安定であり、契約金額の上昇の見込みが懸念されましたが、シルバー人材センターの「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員に生きがいとなる就労機会の提供に加え、各種ボランティア活動など地域貢献事業を通じて、多彩な事業展開を進めることができました。また、各会員の勤勉な就業が公共・一般企業・各家庭に認められて、請負・派遣の合算での契約金額で1億6,374万円、前年対比5.3%アップ（前年実績1億5,548万円）と前年度に引続き健闘しました。

一方会員数は前期3月末で311人、今期3月末で296人と15人減少しました。会員拡大に向けて講習会の開催などに力を注ぎ、入会の増加を期待しましたが、退会者が上回り減少となりました。

令和元年度の日本経済は、足踏み状況で緩やかに回復基調が続くと思いますが、人口減少や高齢化が進むなかで、雇用や所得環境の改善がみられる一方、個人消費や民間企業の投資に力強さを欠いた状況がまだまだ続いていくと思われます。

このようななか、令和元年度からは更なる経営基盤の強化と拡大を図り、安定させていくことが重要です。

センターではこの状況のなか、「自主・自立・共働・共助」を基本理念として、精華町行政並びに関係機関、各団体などと連携を保ちながら、公益法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう「生きがいと、地域社会のニーズ」に応えられる事業運営を図るとともに、安全就業・就業拡大・会員拡大を目標に、子育て支援や高齢者の日常生活支援など、福祉関連事業にも力を注いだ事業推進に取り組んでまいります。

会員の皆さま並びに役職員のご支援をよろしくお願いいたします。

定時総会のようす

■ 長年当センターで活躍された方々の表彰



会員として長年在籍された以下の17名の方が会員表彰を受けられました。

会員表彰 表彰規程第4条

- (1) 登録期間が5年以上のものであって、30日以上就業した会員
- (2) 年齢が（表彰月）70歳以上の会員
- (3) 表彰現在引続き在職している会員
- (4) 前（1）項の期間、何れも会費を納入している会員

精華町シルバー人材センター被表彰

氏名	地域班
清水 泰律	菱田
原田 洋子	馬淵
森田 一宏	桜が丘三丁目
林 好男	精華台二丁目
村上 綾子	光台八丁目
本島 陽子	植田
古川 辰己	里
佐藤 忠幸	桜が丘一丁目
岸 洋一	南1班（南② 杉本）

氏名	地域班
徳永 大義	北ノ堂
佐和 宗義	光台六丁目
十野 光義	桜が丘三丁目
石本 晋也	西北
福山 澄江	北ノ堂
石橋 俊則	光台四丁目
杉浦 繁夫	乾谷
藤本 泰孝	桜が丘一丁目

（敬称略）